

平成 22 年 5 月 18 日現在

研究種目：若手研究 (B)

研究期間：2008～2010

課題番号：19710037

研究課題名 (和文) アフリカにおける地方分権化下の野生動物の保護管理に関する研究

研究課題名 (英文) The Study of Wildlife Conservation and Decentralization in Africa

研究代表者

西崎伸子 (NISHIZAKI NOBUKO)

福島大学・行政政策学類・准教授

研究者番号：40431647

研究分野：アフリカ地域研究

科研費の分科・細目：環境学・環境影響評価・環境政策

キーワード：アフリカ、エチオピア、地方分権、野生動物保護、住民参加、保護政策

### 1. 研究計画の概要

本研究の目的は、エチオピアにおける地方分権化と野生動物保護政策に関する具体的な事例を検討し、(1) 地方分権化における野生動物保護政策の実態を把握すること、(2) 地方分権化における「住民参加」の状況を明らかにすること、(3) (1) (2) の結果を踏まえたうえで、アジア・アフリカ諸国の事例と比較検討しながら、地方分権化における今後の野生動物の保護管理政策における「住民参加」の方向性を探ることの3点である。

### 2. 研究の進捗状況

本研究は、主に東アフリカ地域の国立公園に代表される自然保護区およびその周辺の地域社会における文化人類学的な現地調査および、比較対象となる他地域の事例を検証するための文献調査を手法としている。

2008度は、ケニアとエチオピアの野生動物保護区において現地調査をおこなった。とくに本研究の対象地となるエチオピアにおいては、地方分権化によって、中央政府から地方政府へ野生動物保護区の管理運営の権限委譲にともなう現地レベルの対応を把握することを試みた。聞き取り調査の中心は、2007年に非営利活動団体African Parksが自然保護区の管理運営から撤退を発表したことにもなう影響を関係者への聞き取り調査から明らかにすることを試みた。

2009年度はアジア・アフリカ諸国の地方分

権化下の鳥獣行政の動向についておもに文献により情報を収集・分析している。アフリカの野生動物の保護管理に関する政策形成は、従来欧米諸国が強い影響力を行使してきたが、先進諸国の中でも里山的環境を保持するという点で特殊な位置にある日本の事例検討がアフリカの野生動物保護管理を考えるうえで有効になると考え、今後日本の鳥獣の保護管理のあり方についても現地調査をおこなう予定にしている。

現地調査で得られた情報については、日本アフリカ学会 (2009年度)、日本野生動物保護学会 (2009年度) において随時発表をおこなった。

### 3. 現在までの達成度

①おおむね順調に進展している。

(理由)2009 年度に予定していた国際学会での成果発表は、「計画に関する諸条件」により、2010 年度 7 月開催の世界社会学会議 (於：ヨーテボリ) における発表に延期した。その他はほぼ順調に進展している。

### 4. 今後の研究の推進方策

2010 年度は最終年度であり、研究の成果発表を中心におこなう予定である。10 月に予定している日本野生動物保護学会 (岐阜県) における成果発表、学術雑誌への論文投稿を目指す。

### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔学会発表〕（計 3 件）

西崎伸子「地域で取り組む獣害対策：電気牧  
柵の設置の動態に関する地域研究的考察」第  
15 回野生生物保護学会大会（東京：日本獣医  
生命科学大学）2009 年 11 月 7 日 8 日

西崎伸子「エチオピアにおける野生動物保  
全：在来知とポジティブな実践（2）」日本  
アフリカ学会第 46 回学術大会（東京農業大  
学）2009 年 5 月 23 日 24 日

Nishizaki Nobuko, “Understanding  
villagers’ livelihoods and their importance  
in community-based wildlife conservation:  
a case study of Ethiopia”, International  
Workshop “Re-conceptualization of Wildlife  
Conservation” (Kenya). 2008.8

〔図書〕（計 2 件）

西崎伸子『抵抗と協働の野生動物保護—アフ  
リカのワイルドワイフ・マネージメントの現  
場から』昭和堂 2009 年 3 月

Nishizaki Nobuko, “Community-based  
‘anti-poaching’ effort: A case study of the  
Mago National Park, Ethiopia”  
*Re-conseptualization of Wildlife  
Conservation: toward resonation between  
subsistence and wildlife*, Toshio Megro (ed.),  
ACTS Press. 2009.